

おだか

第 28 号

2015

平成 27 年 1 月 28 日 (水)

南相馬市

小高小学校

学校だより

ロボット研究家 小林宏さんに聞く

～ゲストティチャーによる特別授業～

みなさんは、「ロボット」というとどんな姿を思い浮かべますか。人間の姿、形をした機械というイメージが多数を占めると思われますが、実は、自動車を組み立てる機械であったり、家電の円盤の形をしたお掃除ロボットだったり、使う目的や種類によってさまざまなものがあります。

東京理科大学の小林宏教授は、ロボットを、人間の体や動きをサポートしてくれる機械として研究を進めています。1月27日(火)、この小林宏先生をゲストにお迎えして、本校の4～6年生と福浦・金房・鳩原小の4年生がお話を聞く、特別授業を行いました。

小林宏教授は、4年国語の教科書に『『ゆめのロボット』を作る』という文章を載せている有名な先生です。先生は人の代わりに何でもやってくれるロボットではなく、寝たきりの人が自分で起き上がったり、かがんだり、物を持ち上げたりする時に、その動きを助けてくれるロボットを作ろうとしています。



ロボットのお話する小林先生



マッスルスーツをつける千葉先生と、6年生

子どもたちは、先生の作ったいろいろな機械の仕組みや使う目的を聞き、実際に機械を体につけて体験しました。この機械は、マッスルスーツと呼ばれ、小高区の工場でこれからたくさん作られることになるそうです。自分の思いや願いを実現していこうとする生き方も、教えていただいた時間となりました。

昔の遊びをしました

27日(火)には、1・2年生が日赤支援事業の一環として「昔の遊び」を行いました。3つのグループに分かれ、「お手玉」「けん玉」「こままわし」の遊びを、ローテーションをしながら楽しみました。1年生にとっては、初めて行う遊びもありましたが、うまくできないもどかしさもありつつも楽しく挑戦する姿が見られました。



お手玉に挑戦